

教師力・学校力向上を支援する教育研修センターの 効果的な研修の在り方について ～フォローアップシステムの構築を通して～

機 関 名 宮崎県教育研修センター
職・氏名 指導主事 疋田 雅樹

1 主題設定の理由

教職員が研修を受ける機会として、「校外研修」や「校内研修」、「OJT (On-the-Job Training)」、「自己研鑽」がある。「校外研修」は、教職員の専門性や指導力向上等に有効であり、研修講座の工夫や研修内容の充実などが図られている。「校内研修」は、学校の教育目標の具現化に向けて計画的に実施されている。「OJT」は、学校内における職務を通しての人材育成活動全般のことであり、一定時間の中で、数多くの育成の機会をもつことが可能となる。「自己研鑽」は、いつでもどこでも自らの意志で資質向上を図ることができる。中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」（平成18年7月）には、教職員同士の学び合い、高め合い、学校におけるチームワークを重視した全体的なレベルアップが重要であると示されている。また、本県の「教職員の資質向上実行プラン（平成25年3月）」では、これらの学びの場がそれぞれ独立して存在するのではなく、相互に関連し合い、補完し合うことが重要であると示されている。

本センターでは「校外研修」の一環として本センター及びサテライト会場で研修講座を実施するなど、受講者のニーズに応じた研修の充実に努め、毎年約4300名が受講している。しかし、研修後の各学校における見届けが十分ではないため、研修で得た情報が受講者の学校全体に還元されているのか、教師力や学校力の向上につながっているのか、研修講座の有効性を明確に把握できていない状況にある。

また、本センターでは「校内研修」への支援として、各学校からの要請に応じた「研修サポート」を実施しており、昨年度は約3500名の支援を行った。しかし、特別支援教育の研修サポートでは、特別支援教育コーディネーターが研修担当者となることが多く、異動等もあることから計画的な実施がなされにくい状況にあり、毎年同様の内容を安易に依頼してくるなど、学校の主体性が見られないという課題もある。

これらの課題解決に向け、本センターが行う効果的な研修の在り方について見直しを図りたいと考えた。特に本年度は、研修講座を受講後、その講座の内容について受講者と共に校内研修の支援を行い、教師の実践的指導力を育成しながら、「教師力向上」、「学校力向上」を図る研修の在り方（フォローアップシステム）を追求していくことを目指して本主題を設定した。

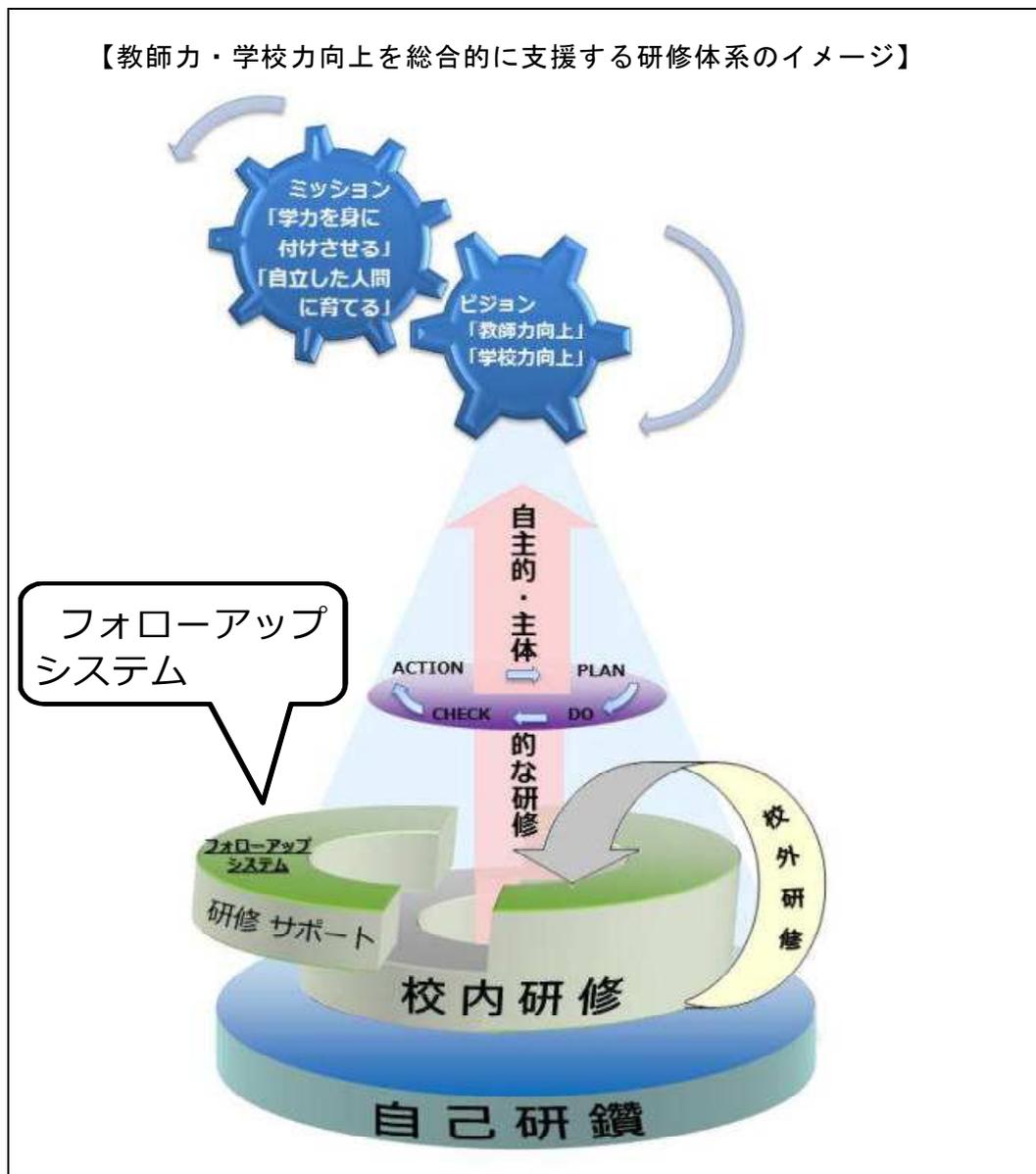
2 研究の目標

内発的・主体的な研修意欲を喚起し、実践的指導力を高めることを通して、「教師力」・「学校力」を向上させるための研修の在り方を究明する。

3 研究の仮説

○ 研修講座の内容を校内研修で還元できるフォローアップシステムを行えば、内発的・主体的な研修意欲が喚起され、教師間の学び合い、高め合いの中で一人一人が実践的指導力を身に付け、ひいては「教師力」や「学校力」の向上が図られるであろう。

4 研究の構想

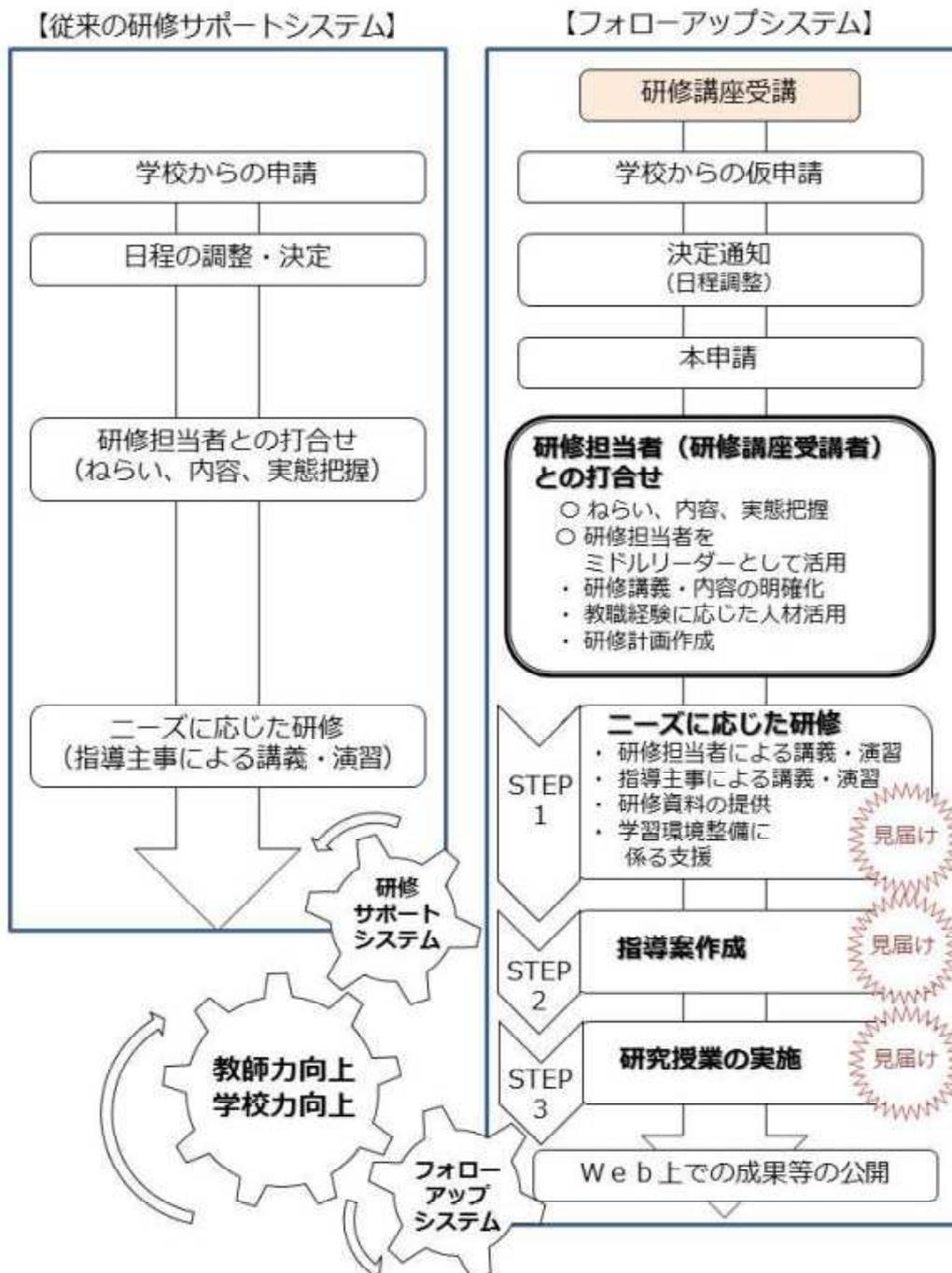


5 研究の実際

(1) フォローアップシステム

本研究におけるフォローアップシステムとは、本センターで実施した内容を受講者が学校で還元する際のフォローアップ（① 研修資料の提供 ② 指導主事による講義・演習等の支援 ③ 授業実践への支援や指導助言 ④ 校内の学習環境整備に係る支援）をセンターの指導主事が行うことにより、校内研修を支援するとともに、学校のOJT機能の強化に役立てることができる研修システムである。

(2) 従来の研修サポートシステムとフォローアップシステムの比較



(3) フォローアップシステムの実践事例（小学校）

① 指定講座 特別支援教育「めざせ！特別支援学級の授業力向上」を受講	
② 仮申請→決定通知・日程調整→本申請	
③ 研修担当者（研修講座受講者）との打ち合わせ ○ ねらい・内容・実態把握の確認、研修担当者をミドルリーダーとして活用	
④ STEP 1 〔校内での研修〕 ○ 研修資料の提供 ・研修担当者が、研修講座で使用した資料に変更を加え、校内研修の資料として効果的に活用した。 ○ 指導主事による講義・演習等の支援 ・指導主事が、校内研修の中で学校のニーズに応じた講義を行い、研修講座の学校への還元を図った。 ○ アンケート結果と研修担当者との協議による見届け、次回の研修内容の予告	
⑤ STEP 2 〔指導案作成〕10月上旬 ○ 授業実践への支援や指導助言 ・研修で作成した授業プランに基づき授業実践までの支援を行う。 ○ 校内の学習環境整備に係る支援 ・授業実践を行う上で必要な教室環境（教材・教具等）の整備に係る助言を行う。 ○ アンケート結果と研修担当者との協議による見届け、次回の研修内容の予告	
⑥ STEP 3 〔研究授業の実施〕10月下旬 ○ 授業実践への支援や指導助言 ・校内で授業研究会を行う際、研修内容に基づいた指導助言を行う。 ○ アンケート結果の集計とこれまでの研修の振り返り	
⑦ Web上での成果等の公開	

6 成果と課題

(1) 成果

- 研修講座の共有化が図られ、教師一人一人の意識の変容と学び合いがあった。
- 研修担当者の内発的・主体的な意欲が喚起され、自ら質の高い指導を求める具体的な行動へと結びついた。
- 校内研修の中で受講者が講義をしたことで、学校全体の志気が上がった。

(2) 課題

- フォローアップシステムに対する学校の積極的な申請につながるような研修講座の充実
- 校内研修支援及びOJT機能の強化につながるフォローアップシステムの在り方
- フォローアップシステムを効果的に位置付けた研修講座の見直し
- フォローアップシステムの周知と理解のための手立て